

平成26年 第12回京丹後市教育委員会会議録

- 1 開催年月日 平成26年8月1日（金）  
開会 午後5時05分 閉会 午後5時50分
- 2 場 所 大宮庁舎 4階 第5会議室
- 3 出席委員名 小松慶三、文珠清道、森益美、米田敦弘
- 4 欠席委員名 野木三司
- 5 説明者 教育次長 吉岡喜代和、教育理事 梅田利也、教育理事 松本明彦  
教育総務課長 中村和幸、学校教育課長 横島勝則、  
子ども未来課長中村八寿子、社会教育課長 土出政信、  
文化財保護課 吉田 誠
- 6 書 記 教育総務課長補佐 坪倉武広
- 7 議 事
- (1) 議案第 61 号 京丹後市スポーツ推進委員の委嘱について
- (2) 議案第 62 号 京丹後市立幼稚園条例の一部改正について
- (3) 議案第 63 号 第24回丹後ブロック中学校駅伝競走大会の開催に係る共催について
- (4) 議案第 64 号 紙芝居「豊宇賀能売命になった天女」を見る会の開催に係る後援について
- (5) 報告第 15 号 公益財団法人京都府丹後文化事業団の経営状況について
- 8 その他 諸報告
- 9 会議録 別添のとおり（全9頁）

10 会議録署名

別添の会議録は書記が記載したものであり、別添記載の正確であることを認めここに署名する。

平成26年10月8日

委員長 小松 慶三

署名委員 文珠 清道

〔招集者〕 京丹後市教育委員会委員長 小松慶三

〔被招集者〕 文珠清道、森益美、米田敦弘

〔説明者〕 教育次長 吉岡喜代和、教育理事 梅田利也、教育理事 松本明彦  
教育総務課長 中村和幸、学校教育課長 横島勝則、  
子ども未来課長 中村八寿子、社会教育課長 土出政信、  
文化財保護課長 吉田誠

〔書記〕 教育総務課長補佐 坪倉武広

〈小松委員長〉

ただ今から「平成26年 第12回京丹後市教育委員会定例会」を開会致します。  
先ほどは、教育委員の皆様には置かれましては教科書選定に係る勉強会を行わせていただきました。ご苦勞様でございました。そしてまた、お借りしましたので、皆さんも十分に勉強をお願いしたいというところでございます。

それでは、次に米田教育長から、第11回教育委員会定例会開催後の諸会議、行事等を中心として、教育長報告をお願い致します。

〈米田教育長〉

それでは、遅い時間からになりましたけれども、ご苦勞様です。

8月を迎えてしまってどんどんと月日が過ぎていく感じがいたします。長期予報では冷夏であるというような予報もあったようですけれども、予報を見事に覆すような毎日ですが、クラブやいろんな活動に試合に頑張っている子どもたち、はらはらしながら見ておりますけれども、頼もしく思っております。

時間も遅いので、動静の方に入らせていただきます。

【動静表を朗読、説明】

〈小松委員長〉

ただいまの教育長報告につきまして、ご質問等ありましたらお願いします。

それでは、次に会議録の承認を行います。第9回の署名委員は野木委員、第10回の署名委員は文珠委員となっております。会議録につきましては、お手元の方に送付しております。原案のとおり承認してよろしいでしょうか。

〈全委員〉

了承。

〈小松委員長〉

それでは、原案どおり承認致します。

〈小松委員長〉

本日の会議録署名委員の指名を致します。  
文珠委員を指名しますのでお願いします。

〈小松委員長〉

それでは、お手元の会議次第にそって議事を進めさせていただきます。

初めに、会議の非公開についてお諮りします。

議案第61号は京丹後市教育委員会会議規則第16条第1項第1号の規定により、非公開としてよろしいでしょうか。

〈全委員〉

異議なし。

〈小松委員長〉

異議なしということで全員の賛同を得ましたので、議案第61号については非公開といたします。

(非公開部分省略)

〈小松委員長〉

これより会議を公開と致します。

〈小松委員長〉

それでは、次の議案に入らせていただきます。

議案第62号「京丹後市立幼稚園条例の一部改正について」を議題と致します。

米田教育長から提案理由の説明をお願いします。

〈米田教育長〉

これにつきましても、教育次長の方から提案します。

〈吉岡教育次長〉

議案第62号「京丹後市立幼稚園条例の一部改正について」説明をさせていただきます。

京丹後市保育所再編等推進計画に基づき幼稚園整備をその中で行っておりました、峰山幼稚園については耐震に課題があったこと、それから、現在吉原小学校の施設の一部を利用して運営しておりますが、峰山町内の保育所の統合にあわせ保育所施設に併設するため移転するとともに、幼稚園がなかった弥栄町と久美浜町に、統合保育所の整備に合わせ、新たに幼稚園を設置するものです。

これらの運営については、平成27年4月から行う予定としています。

幼稚園の名称につきましては、それぞれ施設整備のために設置をしております建設検討委員会で協議を行い、「京丹後市立峰山幼稚園」はそのまま変更しないこと、新たな幼稚園につきましては「京丹後市立弥栄幼稚園」、「京丹後市立かぶと山幼稚園」とすることとしましたので、これを踏まえ、幼稚園の設置を規定しております「京丹後市立幼稚園条例」の一部を改正するものです。

改正文の内容について、説明させていただきます。

第2条の表におきまして、施設の名称と位置を規定しておりますが、京丹後市立峰山幼稚園につきましては、位置を新しい施設の位置に改め、京丹後市立弥栄幼稚園と京丹後市立かぶと山幼稚園を新たに加えるものです。

施行期日につきましては、先ほど申しあげました開設日ということで、平成27年4月1日からとします。

3施設とも現在まだ施設については整備中ですが、来年度の入園募集等の関係から、今委員会へ提案をさせていただくこととしております。

なお、本日承認いただきましたら、9月議会の方へ上程をさせていただきたい予定としています。

以上、ご審議の程よろしくお願い致します。

〈小松委員長〉

議案第62号をご説明いただきました。

ご質問、ご意見等がございましたらお願いします。

〈森委員〉

条例について特に問題はないと思うのですが、なぜに久美浜だけ「かぶと山幼稚園」なのでしょう。

〈吉岡教育次長〉

先ほど言いました建設検討委員会で各幼稚園とも検討をしていただいた結果なのですが、基本的には地域の名前を使ったかどうかということが主な理由で選ばれています。実は、先ほど申しあげました、保育所と一緒に今回は整備をしておりますので、久美浜につきましては久美浜保育所が別にあります。久美浜の中心部に久美浜保育所があるので、新しい保育所の方が「かぶと山保育所」になる関係もあって、幼稚園もそれに一緒に合わせた方が良いでしょうということで、かぶと山幼稚園ということで、建設検討委員会で決めていただいております。以上です。

〈小松委員長〉

ご異議ございませんか。

〈小松委員長〉

それではお諮りを致します。

議案第62号「京丹後市立幼稚園条例の一部改正について」につきまして、承認にご異議ございませんでしょうか。

〈全委員〉

異議なし。

〈小松委員長〉

異議なしと認め、承認と致します。

続いて、議案第63号「第24回丹後ブロック中学校駅伝競走大会の開催に係る共催について」を議題と致します。

米田教育長から提案理由の説明をお願いします。

<米田教育長>

この件につきましても、教育次長の方から提案します。

<吉岡教育次長>

失礼します。議案第63号「第24回丹後ブロック中学校駅伝競走大会の開催に係る共催について」説明をさせていただきます。

この事業は、丹後ブロック中学校体育連盟・宮津市陸上競技協会・北丹陸上競技協会の共催により開催される駅伝大会で、各教育委員会に対しまして共催の依頼があったものですので、共催をしたいと思います。

主催は先ほど申し上げました3団体、期日は平成26年10月18日、会場は京都府青少年海洋センターマリナーピア中央広場で開会式・閉会式を行うこととしまして、コースはその周辺で行われ、申請者は丹後ブロック中学校体育連盟の会長 岩佐好正氏となっております。

以上、ご審議の程よろしくお願い致します。

<小松委員長>

議案第63号をご説明いただきました。

ご質問、ご意見等がございましたらお願いします。

<小松委員長>

ございませんか。

<小松委員長>

それではお諮りを致します。

議案第63号「第24回丹後ブロック中学校駅伝競走大会の開催に係る共催について」につきましても、承認にご異議ございませんでしょうか。

<全委員>

異議なし。

<小松委員長>

異議なしと認め、承認と致します。

続いて、議案第64号「紙芝居「豊宇賀能売命になった天女」を見る会の開催に係る後援について」を議題と致します。

米田教育長から提案理由の説明をお願い致します。

<米田教育長>

この件につきましても、教育次長の方から提案します。

〈吉岡教育次長〉

議案第64号「紙芝居「豊宇賀能売命になった天女」を見る会の開催に係る後援について」説明をさせていただきます。

この事業につきましては、丹後国風土記にある天女伝説を自分たちで紙芝居を作成し市民に見ていただき、郷土のことを知っていただきたく交流をするために開催をされるものです。

今までから、市内のいろいろな場所でいろいろな発表会を開催しているようです。

主催は、紙芝居を創る会、会場は峰山地域公民館、期日は平成26年9月7日、申請者は同会の代表 森山道子氏となっております。

以上、ご審議の程よろしくお願い致します。

〈小松委員長〉

議案第64号をご説明いただきました。

ご質問、ご意見等がございましたらお願いします。

〈文珠委員〉

紙芝居を創る会というのは宮津市の方が代表ということであるわけですが、この申請書からすると、色々な地域の題材を基に色々な紙芝居を創って、それを発表されていると思うのでございますけれども、特に今回は峰山町に関係する題材であってこちらの方で後援をされるということだと思っておりますけれども、こういった事業は、今までからあるような、今までもあったと思っておりますけれども、学校とかいろんな関係のところで見ていただくような機会が今まではあったのでしょうか。

〈土出社会教育課長〉

後援申請の中にありました活動内容につきましては、今までは各団体ですとか小さな規模で活動されておりました。京丹後市においても、高齢者大学の峰山学園の開校式の中で上演をしてもらった経過もあります。今回広く一般に募集をしながら紙芝居の上演をしていきたいということで、今回後援の申請が出てきました。以上です。

〈森委員〉

私は森山道子さんの読まれる、創られるのも創られたのですけれども、紙芝居を見させていただくことができました。大人が見てとても共感できたというか、私は知らないことを知ることができ、改めてそうだったんだと納得がいったことができました。だから、大人の方には是非見ていただきたいと思っております。私が見たのはもちろん京丹後の話ではないのですけれども、とても良かった印象があるので機会があれば、また見せていただきに行きたいなと思っております。

〈小松委員長〉

他にございませんか。

〈小松委員長〉

構成員はこの3名だけという事ではないのですか。

〈吉岡教育次長〉

3名だそうです。それぞれ役があるようです。

〈小松委員長〉

なるほど。

〈文珠委員〉

これはボランティア活動ですか。

〈小松委員長〉

せっかくだから、丹後のお姫様の7人の創作も創ってもらったら良いのと違うかなと思いました。

〈森委員〉

ここには1時間とありますよね。36枚で1時間とか書いてありますけど、上映時間が例えば30分でお願いしますといたら適当に抜いてもらえるわけではないと思うのですけれども、それなりに曲が少なくなったりとかいろいろして、30分はちょっときついで45分はくださいとか言われるようですねけれども、大人が聞いていても良い感じですよ。

〈小松委員長〉

それではお諮りを致します。

議案第64号「紙芝居「豊宇賀能売命になった天女」を見る会の開催に係る後援について」につきまして、承認にご異議ございませんでしょうか。

〈全委員〉

異議なし。

〈小松委員長〉

異議なしと認め、承認致します。

〈小松委員長〉

それでは、次に報告議案が1件ございます。

報告第15号「公益財団法人京都府丹後文化事業団の経営状況について」を議題と致しますので、米田教育長から説明をお願いします。

〈米田教育長〉

これも教育次長の方から報告します。

〈吉岡教育次長〉

報告第15号「財団法人京都府丹後文化事業団の経営状況について」説明をさせていただきます。お手元に、平成25年度公益財団法人京都府丹後文化事業団事業報告書・決算書を配付させていただいております。

京都府丹後文化事業団は、平成25年4月1日から公益財団法人として運営をしておりますが、地方自治法第243条の3第2項の規定により、市が資本金等の2分の1以上出資している法人につきましては、毎事業年度、経営状況を説明する書類を作成し、議会に提出しなければならないこととなっておりますので、今後につきましては事前に教育委員会に報告させていただくということで、今年度も報告をさせていただくものでございます。

25年度の実施事業については、報告書の1ページに記載をさせていただいている通りです。1 丹後地域の芸術文化団体の育成についての(3) 地域文化づくり事業「文化の仕掛け人(アートコーディネーター)」設置は、昨年7月から新たに市及び府からの委託事業として実施をしております。広報等でも紹介がありまして、丸山君という方がいろいろと地域に出かけたり自分が色んな活動をして文化を広めております。また見ていただければと言う風に思います。次に、3ページに正味財産増減計算書がございますが、25年度の決算状況は679,078円の赤字決算となっております。前年度の繰越金が6,025,231円ありましたので、単年度収支では、大幅な赤字になります。この主な理由としましては、コンサート等の自主事業で入場者が見込みより少なく、入場料収入が予定した額より減になっていたものがいくつかあること、また公益法人に移行したことの初年度であることから賞与引当金等の、いままで計上になかったものが必要になったこと等によるものです。

事業収入の減につきましてはやはり見込みが甘かったものによることから、26年度の事業の精査を十分に行うとともに、会館稼働率の向上、経常経費の削減を図る等の経営努力のため、昨年度には企画委員会の立ち上げ、今年度は、4月にお世話になりました友の会の会員募集、経営の検討のために経営改善委員会を今月立ち上げて協議を始めることとしております。

丹後文化会館の性格上、本市の文化のまちづくりの中心としての役割を担うことを目指し、丹後地域の文化振興のための拠点としては大事な施設となりますので、引き続き市民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、市としても盛り上げていく必要があるという風に考えております。

<小松委員長>

報告第15号をご説明いただきました。  
ご質問等がございましたらお願いします。

<文珠委員>

正味財産増減計算書の最初の方の項目の②事業収益の中の会費収入というのが、友の会の会員のことだろうという風に思いますけれども、今何人ほど入っておられますか。

<吉岡教育次長>

今、会員はこの4月からの募集ですけれども、今現在何人だということまで承知していません。申し訳ないです。

500人の目標なので、100人か200人くらいしかないというようなことは聞いていますが、はっきりした数字がちょっと分からないので、申し訳ないです。

<文珠委員>



ちょっと認知度が少ないのですね。

その会費収入という項目は、友の会の会員の会費の事を言っているのですか。

〈吉岡教育次長〉

そうです。予算書の方に。

〈小松委員長〉

500,000円ありますね。

〈吉岡教育長〉

500人ですね。

〈小松委員長〉

予算書の中の受託料が5,180,000円となっていますけれども、去年の実績が4,040,000円。地域文化づくり事業・次世代文化継承事業という、これは予算的には受託料として確定しているような状況のものなのですか。

〈吉岡教育次長〉

確定していないものもあると思います。

〈小松委員長〉

なるほど。

〈吉岡教育次長〉

地域文化づくり事業の方が、先ほど言った人件費や委託している分だと思しますので、そちらの方は年間で予算を教育局と市とで半分ずつ持って出すことになっているので、それはもう確定だと思いますが、まだ交付は全額していません。文化継承の方が全て確定すれば分かると思います。

〈小松委員長〉

分かりました。

他にございませんか。

〈小松委員長〉

それでは、以上をもちまして本日の議事はすべて終了させていただきました。

続いて5のその他ということで、諸報告、各課報告を順次お願いしたいと思います。

(1) 諸報告

〈教育次長〉

- ① 「共催」・「後援」に係る7月期承認について

(2) 各課報告

〈教育総務課〉

- ① 第6回京丹後市教育振興計画策定委員会について

〈学校教育課〉

- ① 放課後わくわく自習室について  
② 8月学校行事予定について

〈社会教育課〉

- ① 第49回人権教育研究京丹後市大会について

〈小松委員長〉

全体を通しまして、何かご質問ございませんでしょうか。  
ございませんか。

〈小松委員長〉

それでは、以上をもちまして第12回京丹後市教育委員会定例会を閉会と致します。ご  
苦労様でございました。

〈閉会 午後5時50分〉

[ 8月臨時会 平成26年 8月 18日(月) 午後2時30分から ]